

「メッセージパネルに込めた思い（20回生）」

我々20回生が3年間を過ごしたその時代（1969年～1972年）は、世界に目を向けると、泥沼化したベトナム戦争の真っ只中にあり、一方日本国内では公害問題が深刻化する中、“欧米に追い付き追い越せ”を合言葉に高度経済成長に邁進しているそんな時期にあたっていた。ただ、1973年に発生する第一次オイルショックによりこの高度経済成長は終焉を迎えることとなる。また世界的に広まりをみせる反戦運動、中国における文化大革命の進行、日本国内でも全共闘学生運動など、社会が大きく変わろうとする激動の時代でもあった。文化面では身近なところではラジオのFM放送が進化普及を遂げる一方、AM放送による深夜ラジオ放送の全盛期にもあたっており、我々も少なからずその影響を受けた世代であった。そして世界的ビートルズ旋風さ中の解散報道、国内ではグループ・サウンズに代わりフォークミュージックの台頭をみた。そして1969年7月20日のアポロ11号月面着陸や1970年11月25日の三島由紀夫市ヶ谷自衛隊籠城・割腹自殺事件はその瞬間を授業中にリアルタイムのTV中継で目の当たりにしたことを今でも忘れない。

まさに、我国が戦後復興を成し遂げ、科学文化や経済の発展も著しく、そして新たな政治経済秩序が模索されるそんな時代であったと言えようか。

※この間の主な出来事

1969年 東京大学入学試験中止、日本政府初の公害白書発表、アポロ11号人類初の月面着陸成功

1970年 大阪万国博覧会開催、よど号ハイジャック事件、日米安保条約自動延長、三島由紀夫事件

1971年 京王プラザホテルビル竣工、環境庁発足、繊維対米輸出自主規制、ニクソンショック(1\$=308円)

1972年 2月 連合赤軍浅間山荘事件

※この間にヒットした主な映画作品

「イージー・ライダー」、「卒業」、「いちご白書」（サークルゲーム）、「男はつらいよ」、「緋牡丹博徒シリーズ」

※この間にヒットした主なミュージック作品

「レット・イット・ビー」（Beatles）、「サウンドオブサイレンス」、「ボクサー」（S&G）

「山谷ブルース」、「風」、「フランシーヌの場合」、「あの素晴らしい愛をもう一度」、「翼をください」

※当時のクラス担任

Aクラス担任 古田 哲、柳瀬 秀孝

Bクラス担任 中山 右尚

Cクラス担任 野上 優、古賀 直

Dクラス担任 伊藤 鴻

そんな中、1968年野中町に新築なった附設高校新校舎への初入学を1969年4月我々20回生が果たす。折りしも1969年は附設中学校が新設なった年でもあった。そして「素晴らしき邂逅に謝す」、「謙虚たれ」、「伸び伸び」、「自由に」などの恩師の教えにも表れている通り、附設高校の歴史の中でも唯一、3年間1度のクラス替えもなく、独自の教育方針を貫き、男どろしの絆、恩師との絆を固く育み、自由闊達な3年間を貫く学年となった。行事でも涌蓋山キャンプを实践、“男く祭”の元となる文化祭を創設し、体育祭を発展させ、スキー修学旅行（大山合宿訓練）を始めるなど、附設高校の歴史に貴重な足跡を印したと言えるのではなかろうか。

そんな3年間を温め直しその足跡と生き様を伝え送るべく、再四推敲の末最終的に4クラス全員の当時の集合写真をベースに、主たる時代背景と20回生の足跡及びモットーを添えて今回の「思考廻廊」パネルとした次第であります。

（文責：20回生代表世話人鹿子嶋暢、太田篤）